



クボタグループは、ブランドステートメントである
“For Earth, For Life”の下、環境経営を実践することで
持続可能な社会の発展に貢献していきます。

当社は気候変動をはじめ環境保全活動を重要課題として捉え、
2050年に向けて環境面から事業活動の方向性を示す「環境ビジョン」を策定しました。

環境ビジョン ~2050年に向けて環境面からのありたい姿~

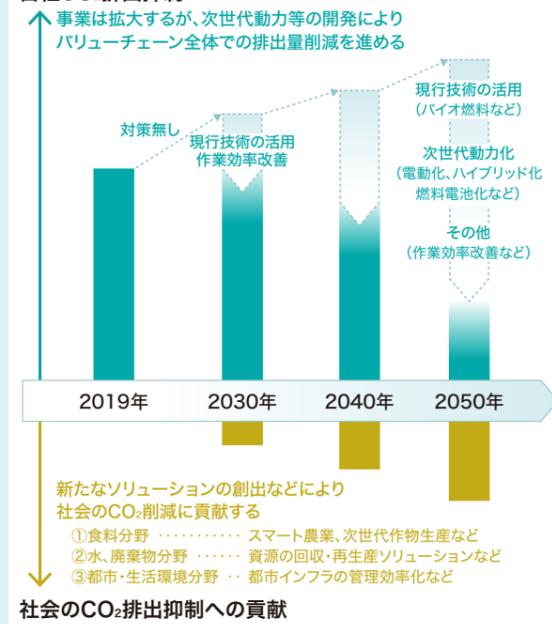
環境負荷ゼロに挑戦しながら、「食料・水・環境」分野で
カーボンニュートラルでレジリエントな社会の実現に貢献します。

カーボンニュートラルに挑戦します

製品ライフサイクル全体におけるCO₂排出の状況を踏まえ、私たちは製品の製造時や使用時のCO₂排出削減に取り組むことが重要であると考えています。

私たちはカーボンニュートラルな社会の実現に向け、温室効果ガスの排出削減や省エネルギーの推進、製品の燃費改善や電動化などを進め、製品ライフサイクル全体におけるCO₂排出抑制を進めます。同時に、製品やソリューションの提供を通じ、社会活動から発生するCO₂排出を抑制し、2050年CO₂排出実質ゼロに挑戦します。

自社CO₂排出抑制



環境ビジョン実現に向けたクボタの取り組み例

スコープ1, 2*排出量の抑制

生産性向上を継続し、燃料転換や再生可能エネルギーの導入などを通じ、さらなるCO₂排出削減に挑戦。

* スコープ1: 事業者自らによる直接排出、
スコープ2: 事業者のエネルギー使用に
ともなう間接排出



スコープ3*排出量の抑制

電動・ハイブリッド化や燃料電池化など、動力の脱炭素化に向けた研究開発に挑戦。

* 事業者の活動に関連する他者や
客先でのCO₂排出



社会のCO₂排出抑制やレジリエントな社会実現への貢献

機械のロボット化やICTの活用により単位面積当たりの収量拡大や作業効率化を図り、農業における省エネルギーや省資源に貢献。



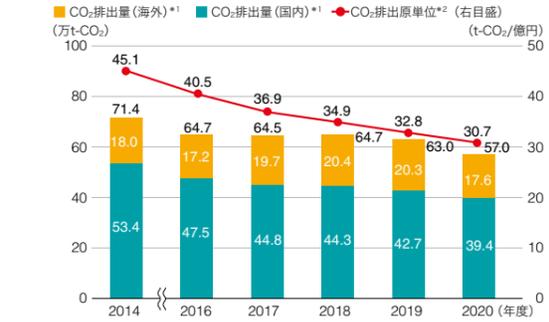
ほ場水管理システムWATARAS (ワタラス)*の提供による用水量の削減に貢献。田んぼを活用した河川氾濫の抑制にも期待。

* 水田の水位などをモニタリングしながら、遠隔操作や自動制御で水田への給水・排水ができるシステム



クボタグループにおける環境負荷低減活動の実績

CO₂排出量と原単位の推移



*1 CO₂排出量はスコープ1およびスコープ2を対象とし、非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます
*2 原単位は連結売上高当たりのCO₂排出量です

廃棄物等排出量と原単位の推移



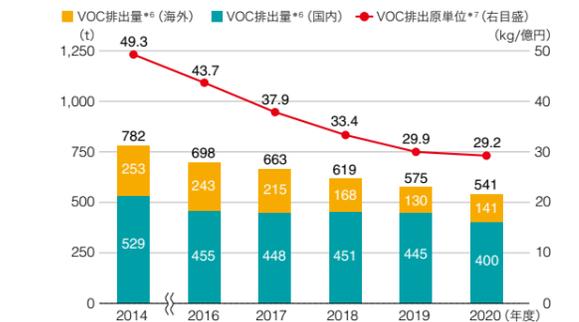
*4 埋立量は直接埋立量+社外中間処理後の最終埋立量
*5 原単位は連結売上高当たりの廃棄物排出量です
廃棄物排出量=再資源化量・減量化量+埋立量

水使用量と原単位の推移



*3 原単位は連結売上高当たりの水使用量です

VOC排出量と原単位の推移



*6 クボタグループでの排出量に占める割合が大きいキシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています
*7 原単位は連結売上高当たりのVOC排出量です

環境配慮製品・サービスの拡充

設計・開発段階で製品環境アセスメントを実施し、原材料の調達から製品の廃棄まで、製品のライフサイクル全体での環境配慮を推進しています。環境配慮性の高い製品は、「エコプロダクツ」として社内認定し、その拡充に取り組んでいます。

~2020年度エコプロダクツ認定製品(一例)~



環境啓発活動

毎年6月に実施している環境月間活動や地域との環境コミュニケーション活動を通じて、従業員の環境意識向上につとめています。



SIAM KUBOTA Metal Technology Co., Ltd. (タイ) 植樹活動の様子

CDPウォーターセキュリティ 2020*で
2年連続、3度目の最高評価を獲得

* 国際的な非営利団体による企業の水に関する事業リスク・機会や戦略策定等について調査・評価

気候変動関連財務情報開示
タスクフォース (TCFD) 提言*に賛同

* 企業に対し、気候変動への対応状況や事業への影響など、自主的な情報開示を推奨する提言